

宮崎ワシントンニアパーク維持管理検討会

【参考資料】

平成29年10月26日

国土交通省 宮崎河川国道事務所

【参考資料①】第5回検討会 議事要旨

第5回宮崎ワシントンニアパーム維持管理検討会 議事要旨

平成29年3月10日(金)15:00～17:00

1. I期更新区間の更新結果の検証

- ・実施内容では検討会で評価となっているが、第三者の客観的評価も必要と考える。更新パターンと同様に、沿道住民の方にも意見を聴く方が良い。
- ・沿道住民の方に意見を聴く場合は、単なる「○」と「×」での多数決にて評価するのではなく、意見を把握できるよう、工夫が必要。
- ・評価項目と評価方法を決定する前に、検討会委員による現場確認が必要。
- ・これまでの検討では、現状の道路空間からの評価となっていたが、長期的な沿道美化計画としては、「宮崎県の沿道修景美化基本計画」等もある。検討では美化に関する長期計画も踏まえて、検討すべきである。

2. 苗木の調達方法

- ・環境学習を一過性のイベントで終わらせるのではなく、学習で実施した苗木の定植場所、沿道での植栽場所等を継続的に情報発信して、愛着を持てるように取り組んでほしい。
- ・小学生の親も含めて、地域で実施するよう取り組んでほしい。

3. 地域との協働による更新方法

- ・地域の方が愛着が感じられるよう、検討を進めてほしい。
- ・宮崎に愛着のある県外者も呼び込めるよう、工夫すべき。
- ・中央分離帯の植栽のため、直接にふれあい機会が少ない。ふれあう機会を設けるべき。
- ・種から圃場で育成するなかでも、里親制度を検討しては良いのでは。

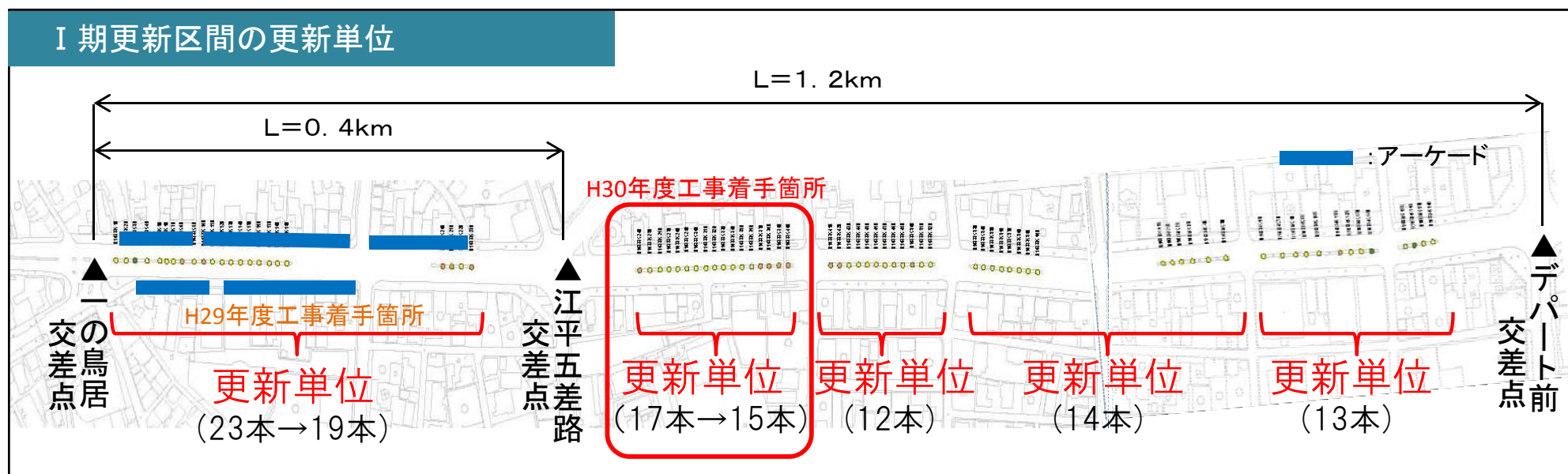
4. 既存木の活用

- ・活用方法は事務局案で了承する。
- ・原木利用の検討においては強度も確認する等、利活用に関する安全性の確認も必要。
- ・活用方法のアイデアの募集について、取り組んでほしい。
- ・移植希望の募集もついて、運搬費用は相手方負担を前提として取り組んでほしい。

以上

【参考資料②】I 期更新区間と平成30年度の植え替え区間

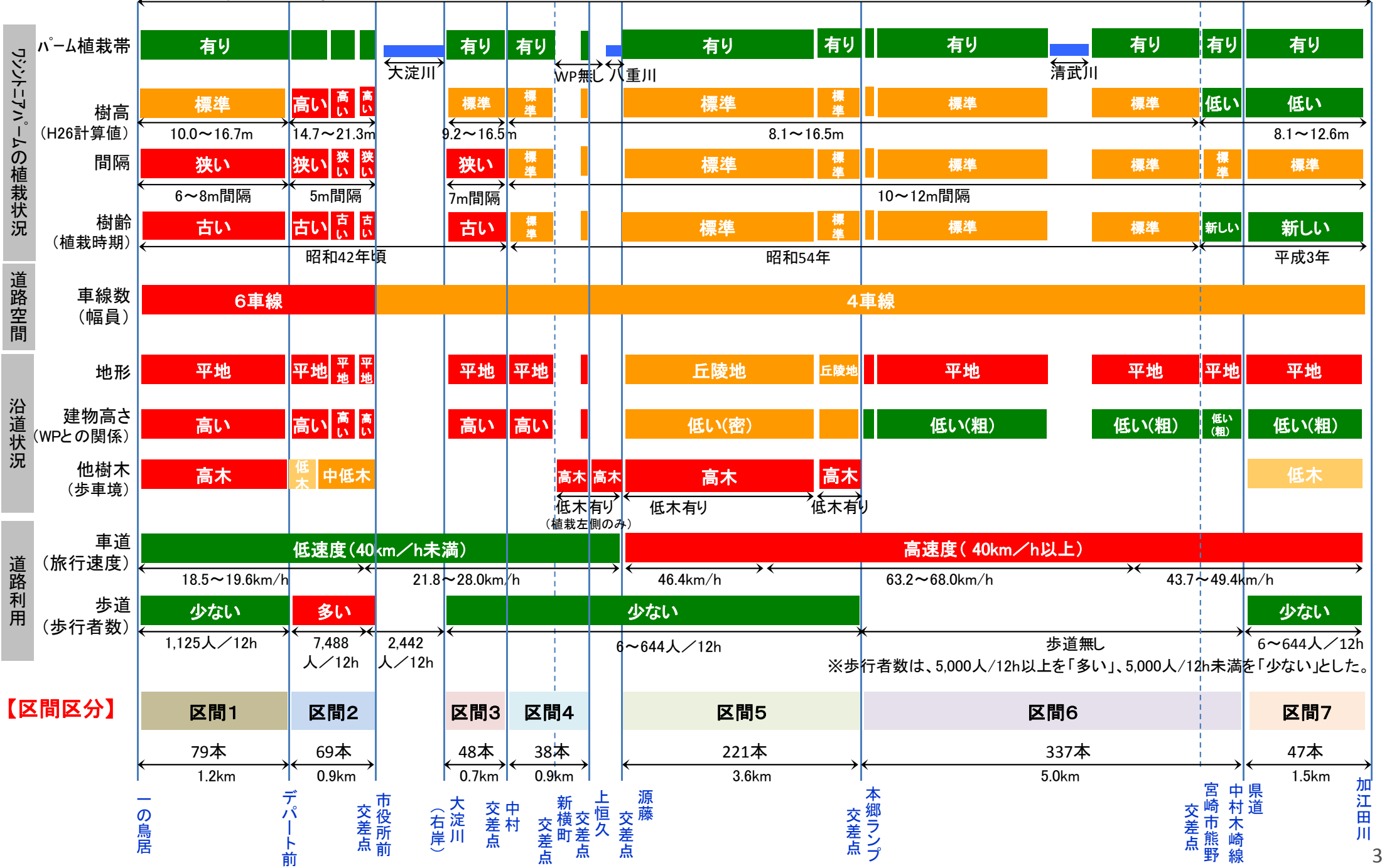
・H30年度に植え替えを行う「江平交差点～市道」は、以下の通りである。



【参考資料③】区間区分

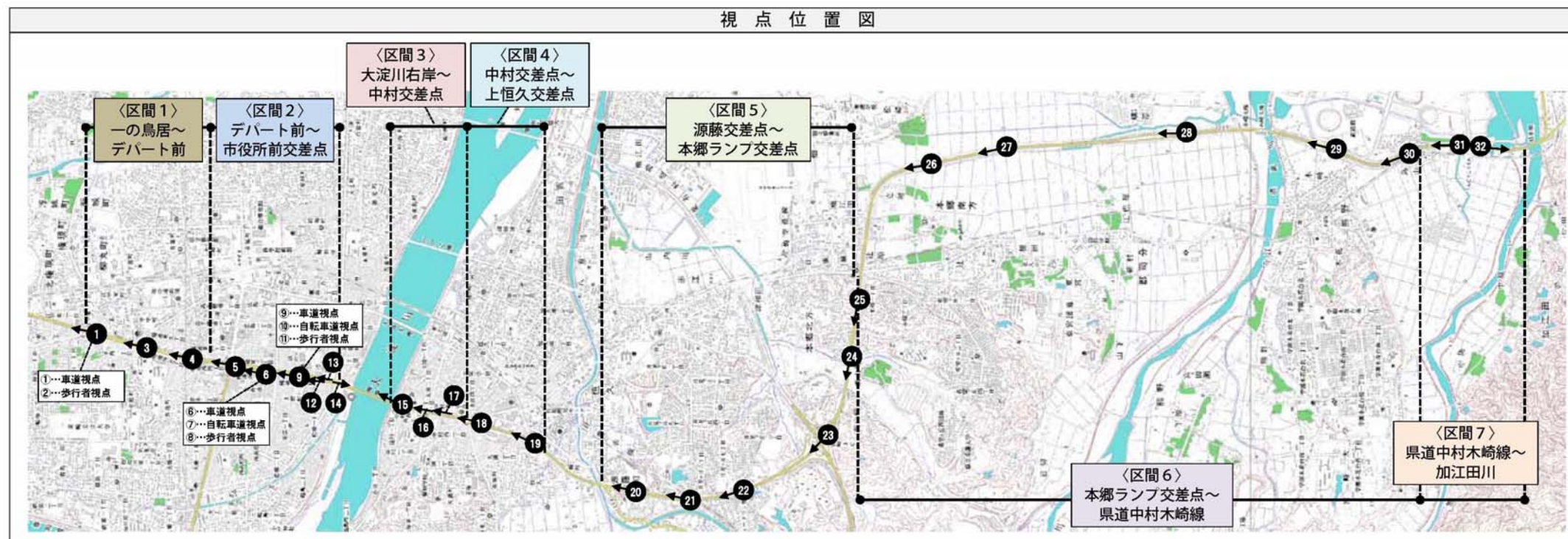
(1) 区間の区分の検討結果

検討対象区間 延長＝14.7km



【参考資料③】区間区分

(2) 区間毎の代表写真



【参考資料③】区間区分

〈区間2〉

デパート前～
市役所前交差点

- ・ 植栽間隔は特に狭い。
- ・ パームより高い建物が連担。
- ・ 歩車境に中低木植栽。
- ・ アーケード区間。
- ・ 人通り多い。

5



6

(車道視点)



7

(自転車道視点)



8

(歩行者視点)



9

(車道視点)



10

(自転車道視点)

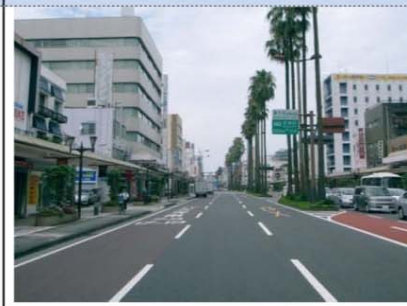


11

(歩行者視点)



12



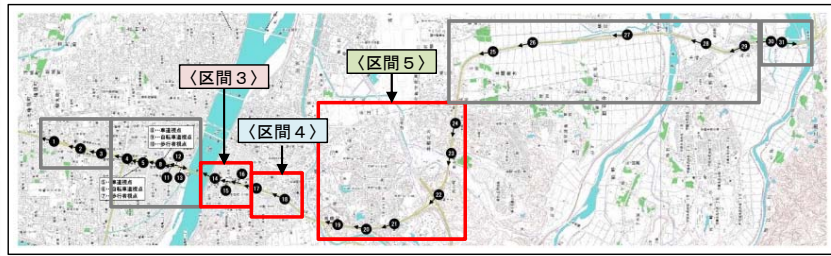
13



14

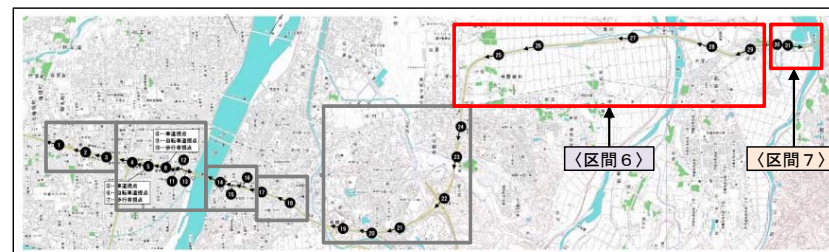


【参考資料③】区間区分

〈区間3〉 大淀川右岸～ 中村交差点 ・ 植栽間隔は狭い。 ・ パームより高い建物が連担。 ・ 歩車境に植栽なし。	15 	16 	17 	
〈区間4〉 中村交差点～ 上恒久交差点 ・ 植栽間隔は標準。 ・ パームより高い建物が存在。 ・ 歩車境に一部高木植栽。	18 	19 		
〈区間5〉 源藤交差点～ 本郷ランプ交差点 ・ 丘陵地 ・ 植栽間隔は標準。 ・ パームより低い建物が広がる。 ・ 歩車境に高木植栽。	20 	21 	22 	23 
	24 	25 		

【参考資料③】区間区分

〈区間6〉 本郷ランプ交差点～ 県道中村木崎線 ・ 植栽間隔は標準。 ・ 沿道に農地が広がる。 ・ 歩車境に植栽なし。	26	27	28	29
				
	30			
				
〈区間7〉 県道中村木崎線～ 加江田川 ・ 植栽間隔は標準。 ・ パームより低い建物が散在。 ・ 歩車境に低木植栽。	31	32		
				



【参考資料④】CG予測と植え替え後の写真



▲植え替え前
(CG予測)



▲植え替え後

【参考資料⑤】苗木育成に係わる情報発信

- 参加した関係者に、メールによる発信やHP掲載等により継続的に情報を提供していきます。
- 情報提供の内容は、以下が考えられます。

- ワシントンアパーム並木育成に係る体験学習の開催
- 体験学習で植え付けたパームの圃場における位置情報や生育状況
- 国道における定植位置 など

▼宮崎河川国道事務所ホームページからパーム関連情報を発信



体験学習に
係る情報の
発信

